ACデルコ バッテリーチャージャー
マイコン制御の簡単操作で、ほとんどのバッテリー(鉛蓄電池)に対応

ACDelco Fully Automatic Battery Charger



第3世代 ベストセラー充電器が更に進化!

- 12V専用
- 常時接続OK!
- 適応バッテリー12V 8 Ah～(5時間率)
- 二輪車用バッテリー12V 8～20 Ah(10時間率)
- 「4ステージパルス充電」でサルフェーションを除去
- 充電過程に「回復充電機能」を追加
- メンテナンスモード採用
- リフレッシュ充電機能採用

ISS(アイドリングストップ)車、充電制御車用バッテリーにも対応

ACデルコ バッテリーチャージャー
AD-3002 ¥39,600(税込価格)

AXEL 株式会社アクセル
www.axel-japan.co.jp TEL:03-5753-5295

特集 自動車バッテリー



補修用ラインアップの充実を武器に

用品販売各社 懸命の需要開拓

バッテリートラブルが発生しやすい冬場を迎えようとしている。日本自動車連盟(JAF、坂口正芳会長)によると、年末年始に最も多い出動理由は「過放電トラブル(バッテリー上がり)」となっており、用品販売店も補修用バッテリーの製品群の充実を進めている。また、自動車技術の進化や電装品の搭載拡大によって、バッテリーへの負荷も高まっている。冬場の安全確保に向け、バッテリー需要の掘り起こしが進んでいる。

性能向上で差別化 値上げ影響を抑制

JAFによると、2025年末の出動理由(四輪十二輪)のうち、4割以上が、バッテリー上がりが原因だった。冷え切ったエンジンを始動させる必要があるため、始動時にバッテリーへの負荷が増すほか、電解液が凍結する懸念もある。

今季は暖冬予想となっているものの、レジャーでの外出や遠出が増える年末商戦に向け、用品販売店の各社はバッテリー製品を売り込んでいく構えだ。

製品は、アイドリングストップシステム機能(ISS)車向けと、「EN規格」向けが売れ筋となっている。特に、EN規格向けは、欧州からの輸入車に加え、一部の国産車でも規格対応が進んだこともあり、需要が拡大している。また、保有車両の車齢の上昇傾向が伸びていることを受け、従来型の鉛電池の販売も底堅いという。

一方、補修用バッテリーは近年、値上げが続いている。26年6月には、パナソニックオートモーティブシステムズ(PAS、永易正吏社長、横浜市都筑区)、ジーエス・ユアサバッテリー(酒見升久社長、東京都港区)などが価格を従来比で約10～20%引き上げると発表した。中東情勢の緊迫化などを背景とした原材料の調達コスト上昇に加え、エネルギーや物流にかかる費用や人件費の高騰が当面続くと想定し、従来の価格を維持することが困難と判断したためだ。企業努力だけでは従来の価格水準を維持するのが難しい状況にあり、各社は商品性能の向上などで差別化を図っていく考えだ。

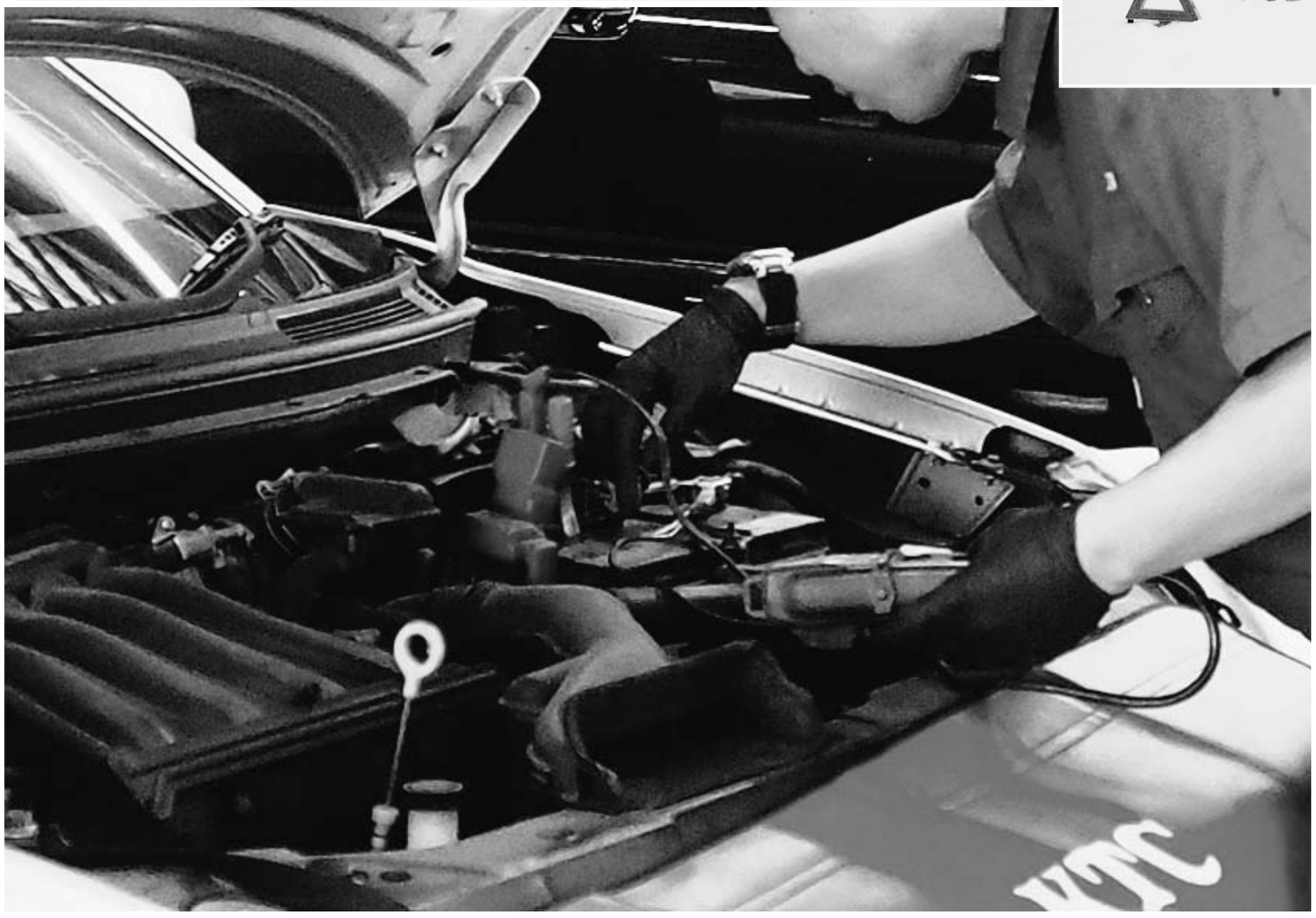
長寿命化など 次世代製品も続々

ジーエス・ユアサバッテリーは25年、ISS対応の補修用バッテリー「ECO・R(エコ・アール、ER)レボリューション」シリーズを刷新した。年々、増えるISS用電池需要に対応し、軽自動車から上級SUV向けなど12型式をそろえた。

次世代製品では、エナジーウィズ(石井義人社長、東京都千代田区)が、今秋に開催された「ジャパンモビリティショー ビズウィーク2026」で、次世代電池「ニッケル亜鉛電池」を初公開した。鉛蓄電池と比べて寿命を約4倍に延ばしたほか、水系電解液を採用したことで燃焼リスクを低減した。充電時間も鉛蓄電池の4分の1に短縮した。補修用バッテリーに加え、無人搬送車(AGV)などへの搭載を見込んでいる。

四輪車の保有台数は8千万台に迫っており、補修用バッテリー市場の需要は底堅い。バッテリー各社は、足元の市場ニーズに対応しながら、次世代製品への開発投資を積極的に行っていく姿勢だ。

トラブル多発の冬シーズン



売れ筋「ISS車向け」「EN規格」

進化するEuro-Nextシリーズ



冬場はバッテリー上がりの
トラブルが急増する時期です。

寒さに強いバッテリー

※2026年JAF調べ:一般道での過放電バッテリー出動構成41%(1月)、29%(8月)

ACDelco

パワー&持続力が大幅アップ!

・始動性能(CCA)18～30%アップ!
・保証期間は安心の24ヶ月／4万km。

自社性能比較	性能値	始動性能(CCA)	蓄電容量(Ah)
LN0	350	390	42
従来のLN0	340	300	40
LN1	360	480	51
従来のLN1	355	400	50
LN2	375	590	62
従来のLN2	365	500	60



リニューアル発売!

詳しくはコチラから

ゼネラルモーターズ・ジャパン株式会社 ACデルコ
〒140-8687 東京都品川区東品川4丁目12番8号 品川シーサイドイーストタワー 8階
TEL(03)6711-5650

www.acdelco-japan.jp

自動車バッテリー 販売代理店ルポ

ジーエス・ユアサ バッテリー代理店

折井電池
（長野県松本市）

折井電池（折井俊一郎社長、長野県松本市）は補修用バッテリーをはじめ、カーナビ、ETC、ケミカル製品など幅広く取り扱い、顧客となる自動車ディーラー、専業整備工場との接点を増やし、その信頼を勝ち得ている。


折井俊一郎社長

特定整備認証を取得し整備の高度化に対応する体制を整える一方、補修用品の販売に力を入れており、13人いる社員のうち7人を営業担当として構成。バッテリーについては自動車だけでなく除雪機やトラクターなど農機具用のものも取り扱い、売り上げ全体の5割を構成する状況だ。

同社が商圏とする中南信エリアは南北に長く、デリバリーの対象となる顧客拠点は100カ所に上る。特にバッテリーの場合、突然の在庫問い合わせが多い。ジーエス・ユアサ製品はメーカー純正の専用品が多く、ディーラーからの問い合わせも多いという。当日、もしくは遅くても翌日の納品が求められ、対応できなければ販売機会を逸してしまう可能性もある。

このため、あらかじめ対応に備える。同社ではジーエス・ユアサが販売代理店向けに発行する情報冊子を活用し、発売から3年程度が経ち、交換のタイミングを迎える車種を社内で共有。1カ月ごとに車両に積載する製品の見直しを図る。遠方の顧客に向けては販売を委託する形であらかじめ納品し、販売機会を逸さない体制を整える。

自動車の高度化、電装品装着点数の増加に伴い、バッテリーに対する負荷がより高まる傾向にある中、ジーエス・ユアサではフラッグシップで長寿命を特長とした「ECO.R Revolution」をはじめ、さまざまな使用条件に対応したラインアップを取りそろえる。

突然の在庫問い合わせにも対応して


デリバリー用の車両に需要が高そうな製品を積載

一連を背景に折井社長は「販売量に頼ることなく収益性が高められる方向にある」と期待感を示す。それまではコストメリットの効いた製品が販売の中心だったが、一連を契機に充電制御機能を備えたアイドリングストップ車用バッテリーなど付加価値製品の販売が好調に推移し始めている。

今後の課題について、高性能バッテリーに対する普及啓もう活動の重要性を訴える。「アイドリングストップ車にも関らず旧式のバッテリーを販売する販売店はまだまだ多い。旧式を使用し続けるとアイドルストップしなくなる恐れがあり、本来の燃費を保てず負荷がかかり結果的に早期のバッテリートラブルを引き起こす原因になる」（折井社長）。

さらなる事業拡大を見据え、若手の営業マンが増えている。

足元では重機、建機関連の新規需要開拓を重点施策と位置付け、「その担い手として若手に存在感を発揮してもらいたい」（同）と展望を見据える。

エナジーウィズ代理店

中部コウベ電池
（愛知県津島市）

中部コウベ電池（石田昌宏社長、愛知県津島市）はエナジーウィズの販売代理店制度におけるSA（スーパーエージェント）店として愛知はもとより、岐阜、三重、長野を含めた4県を商圏とし、約500社の整備事業者にバッテリーの販売を展開し、地域の自動車インフラを支えている。


石田昌宏社長

創業は1948年。バッテリー販売を祖業とし、エナジーウィズ（旧神戸電機）との取引も当時にさかのぼる。経営理念〝自利利他〟（自身の利益は顧客の利益につながるという考え）の下、事業規模の拡大とともに広い敷地を求めて2回にわたり移転。2001年に移転を果たした現本社工場は東名阪道蟹江IC近くに立地し、広範囲にわたる地域への効率的なデリバリーを可能にしている。

一般的な電装整備業においては、総売上高に占める電装品販売と整備工賃の割合が増える一方、バッテリー販売の割合は減少傾向にある。しかし、同社は売り上げ全体の7割をバッテリー販売で構成する状況だ。その源について石田社長は「徹底した在庫管理にある」と強調する。

徹底した在庫管理が拡販力の源に



需要期前の拡販キャンペーンで大量ロット購入した顧客の在庫を同社で預かるとともに、1カ月ごとのロット番号を基にした鮮度管理を徹底して実施できる体制をここ10年で整えた。ある程度期間が過ぎた製品を回収するとともに鮮度の高い製品を納品し、常に在庫のある環境を提供できるようになった。

一連の取り組みは販売機会を逸することを防ぎ、劣化した製品の在庫・売り上げ損失リスクを排除するとともに、在庫スペースの削減に貢献するとあって顧客から好評だ。

製品が高品質・高価格化する傾向にあって、エンドユーザーを含めた顧客に対する適切な説明が求められている。同社ではエナジーウィズが販売代理店向けに展開する情報共有ツール「エナジーウィズバッテリー通信」を活用する。加えて得意先とともに組織する「神電会」は同社と顧客双方がより一体感を覚えられる機運の醸成につながり、同社の販売力を下支えする形となっている。

今後に向けては「中長期的に〝自動車バッテリーはタフロング〟というイメージを持ってもらうため、ユーザーによりわかりやすい販売ツールをメーカーとともにつくり、さらなる拡販に向けた土壌を深耕していきたい」（同）としている。

古河電池代理店

羽田電機工業所
（仙台市若林区）

創業は1958年6月。大型車をメインに電装品の修理、販売などを手掛ける。トラックやバスはもとより、冷凍車や検診車、建設機械など特殊車両にも対応。鉄道の保線車両の納入及びメンテナンスも行うなど、その幅広い事業領域と確実で安心な作業品質が、長年に渡り地元企業からの信頼獲得につながっている。


羽田信仁社長

創業当初は乗用車も手掛けていた。大型車メインに切り替えたのは2代目となる先代社長の時で、関東で大型車の修行をしたのがきっかけだったという。修行を終えて地元へ戻り、現在の本社所在地に工場を移転してからは大型車に特化した事業活動を続けている。

羽田信仁社長は「当時はまだ乗用車の需要が伸び続けていた。その中で大型車に全振りしたのは先見の目があったのではないか。逆にそれがあったからこそ、今、差別化できている」と先代社長の経営判断をたたえる。

現在の事業領域は多岐にわたるが、厚い信頼関係を積み重ねているのが、地元の自治体やバス会社、自動車メーカーだ。特に自動車メーカーは三菱ふそうトラック・バスとの関係が強く、ふそうの工場内に社員のサービスマンを常駐させ、電装品関係の修理を担う。エアコンやヒーター、セルモーター、オルタネーターなど始動・充電系の修理に加え、最近は電子制御系の修理依頼にも対応する。

予防対応の強い意識が販売押し上げ



バッテリーについては点検を欠かさず、早期の交換を推奨している。今の自動車用バッテリーは突然作動しなくなるケースが多いためだ。同社は大型車をメインとする事業形態だけに、顧客の車両稼働を止めないことが業務の大前提となる。それだけに「バッテリーは早め早めの点検と交換を徹底してお勧めしている」（羽田社長）状況だ。

こうした予防対応が結果として補修用バッテリーの拡販につながっている。ふそうの工場に常駐するサービスマンだけでなく、自社工場で勤務する社員も含めて「全員が強い意識を持って取り組んでいる」（同）ことが販売個数を押し上げる。

一方で、羽田社長はこうした日常業務を支えていただいているのは古河電池だと強調する。創業翌年の59年10月には販売代理店契約を締結。以降、半世紀以上にわたる信頼関係が続いている。

羽田社長は「古河電池さんは当社の創業時ならではの財政的な苦しみにも寄り添ってくれたと会長から聞いている」と話す。バッテリーの営業活動を超えて取引先を思う気持ちが、半世紀以上にもわたる信頼関係の基盤となっている。





街に灯りがともる。
車が走り出す。
蓄えられたエネルギーが、人々の毎日を支えています。

わたしたちエナジーウィズは、
そんなエネルギーを蓄える会社として、
蓄電によって循環する
クリーンな未来の実現を目指してきました。

1916年、日本蓄電池製造にはじまり、
神戸電機製作所、新神戸電機、日立化成、
昭和電工マテリアルズへ。
時代を超えて100年受け継がれてきた蓄電技術は、
いま、エナジーウィズへとつながり、
次の時代を創っています。

工場や物流が止まらないように。
万が一の災害時も、大切な命を守るために。
明日もまた、いつもの暮らしが続いていくために。

そのために蓄える。
エナジーウィズの、未来のための使命です。

蓄電で、未来へ

Energywith

エナジーウィズ株式会社

パナソニック代理店

過酷な環境だからこそ安心の高性能

太陽自動車（群馬県太田市）



太陽自動車「太田店」


中野智裕
整備工場長

太陽自動車（松岡視己洋社長、群馬県太田市）は、同県南東部と栃木県南西部にまたがる両毛エリアを地盤に、軽の中古車や未使用車の自動車販売から整備、車検、板金塗装までフルラインのサービスを展開する。「すべての人へ〝安心〟という名の幸せを」をモットーに、半世紀近くにわたって地域密着型のスタイルを貫いてきた。

同市の幹線道路沿いにある「太田店」は、こうした取り組みを象徴する店舗だ。整備工場では、14基のストールがフル稼働で顧客の愛車を念入りに作業する。30人を超える整備士が、両毛地域で最大級の年間約9500件の車検を取り扱う。

整備士が車検時に預かるクルマのユーザーへ提案するのが、バッテリーの交換だ。「いわばクルマの『電池交換』。最適な状態のバッテリーで運転してほしい」（中野智裕整備工場長）との思いからだ。

両毛エリアと言えば、全国でも酷暑で知られる土地柄だ。冬場は氷点下まで冷え込むなど、自動車バッテリーには過酷な環境だ。だからこそ、バッテリーの早期交換が欠かせない。

とはいえ、安心して運転を続けるためには、安定して駆動する高品質なバッテリーを選ぶことも重要だ。せっかく整備士が新品のバッテリーを搭載しても、数日後に作動しなくなる事態になれば、同社が掲げる「安心」を提供できなくなってしまうからだ。

「安定した機能を持つバッテリーを、最適なコンディションで使ってほしい」（中野整備工場長）。そんな思いから、同社が整備時に提案するのが、パナソニックのフラッグシップモデル「caos（カオス）」シリーズだ。

大容量と高い充電回復力を持ち、頻繁なエンジンの停止・再始動やドライブレコーダーの駐車監視などによる電力消費に対応した高性能バッテリーとして、整備業界でも定評のあるシリーズだ。

クルマの電装化は、バッテリーへの要求精度を高めている。同社はこうした動きに対応するためにも、整備士により高い技術力を求める。ベテランから若手に受け継がれている技術力と、それに裏付けられた確かな接客力。地域の「足」を守るための取り組みは続く。

ACデルコ代理店

予防交換の必要性を繰り返し説明

キャデラック・シボレー博多（福岡市博多区）



キャデラック・シボレー博多（福岡市博多区）は、ゼネラル・モーターズ（GM）正規代理店である光岡自動車（大野貢社長、富山県富山市）が運営するキャデラック・シボレーの正規ディーラーだ。

2017年2月にリニューアルした新店舗はラウンジスペースを完備し、明るく清潔感がある。またGM認定のゴールドアドバイザーとマスターメカニックが在籍する。九州一円を商圏とし、運営方針「顧客満足度（CS）第一」を掲げ、丁寧で親しみやすい接客と質の高いサービスで地域ユーザーの信頼を得てきた。

ディーラーとしての評価も高い。GMジャパンの優秀販売店表彰においてCS（顧客満足）部門ほか複数部門で優秀ディーラーに選出されるなど実績を誇る。

同店が取り扱うACデルコバッテリーはエンジン始動時のCCA（コールド・クランキング・アンペア）対応力と充電回復能力に比較優位性がある。バッテリーに大きな負荷を掛ける大排気量車を多数ラインアップする米国自動車メーカーが純正採用しており、それが高い信頼性を裏付ける。補修用バッテリー販売において心掛けていることは、「こうした製品の特長はもとより、最近の高性能バッテリーの特徴と予防交換の必要性についてきちんとお客さまへご説明すること」（内山博文サービスマネージャー）だという。ユーザーの意識と、実際のバッテリーの価格や寿命のギャップが広がっているためだ。

近年、アイドリングストップ機能に加えて、ASVやドライブレコーダーなど電装品が増加する傾向にある。動力源となるバッテリーは大容量・高性能化し、価格も従来に比べ上がっている。

一方で、高性能化したバッテリーは寿命を迎える直前まで使用できるため、ユーザーは普段の運転などからバッテリーの消耗を感じとることができない。さらに、短時間の運転を繰り返す自動車の乗り方は、バッテリーが過放電の状態を招き、劣化が進んでしまう。そのため、定期点検などを通じて適切なタイミングでバッテリーを交換しなければ、ある日突然エンジンが掛からなくなる可能性があり、CSの棄損につながりかねない。内山サービスマネージャーは「点検の際、事前にお客さまに繰り返し伝えておくことが大切だ」と強調する。事前にお客さまが知っておくことと、交換し請求の段階で初めて知るのではお客さまの「納得感」が異なるからだ。同店では、購入より3年経過した車両のバッテリー点検と交換案内を徹底している。またテスターを使用してのこまめな点検や丁寧な問診を通じ、「きちんと分かってもらえる説明とサービスで、お客さまとの絆を深める」（同）よう心掛けている。



内山サービスマネージャー（右）とマスターメカニックの宮本誠一工場長



アイドリングストップ車用バッテリー



ECHNO
エクノ IS
UltraBattery

世界初 特許取得※済み
世界初の新技術による
パワフルで長寿命タイプ

※日本国特許特許　第5315256号他

EN規格（日本車仕様）バッテリー

ECHNO
エクノ EN
Premium



製品の詳細
お問い合わせはこちら

あらゆるシーンにお応えする
高性能EN規格バッテリー

古河電池株式会社

自動車営業部 〒240-0006 神奈川県横浜市保土ケ谷区星川2-4-1
HP： www.furukawadenchi.co.jp

GS YUASA

GSユアサの新エコ．アールはじまる。

エコカーを
支えてきた
安心のカー
バッテリー



エコ．アール
ECO.R

アイドリングストップ車やハイブリッド車、充電制御車やEN規格車など、
数多くの車両に新車搭載されてきたGSユアサのカーバッテリー。

確かな技術力とものづくりへの対応力で、多くの自動車メーカーに採用され、
みなさまのお車に最適なカーバッテリー「エコ．アール」をお届けすることで、
環境に優しい「エコカー」の普及に大きく貢献してきました。

ジーエス・ユアサ バッテリーは、「エコ．アール」シリーズの開発を通じて、
エコカーと乗る人に「安全」と「安心」を提供し続けてまいります。



ECO.R レボリューション　ECO.R イー・シー　ECO.R イー・エヌ・ジェイ　ECO.R ハイブリッド

株式会社 ジーエス・ユアサ バッテリー

バッテリー関連製品

Astemoアフターマーケットジャパン



バッテリーチェッカー「HCK-602FB」



ダイアグスティックツール「HDM-10000」

Astemoアフターマーケットジャパンは、バッテリーの交換作業をサポートする一連のツールを提案している。バッテリーの診断からメモリーのバックアップ・車両側リセットまでの機器を1メーカーでそろえることができる。

バッテリー診断にはバッテリーチェッカー「HCK-602FB」を提案する。測定できるバッテリー型式（JIS規格）は156型式で、順次追加。独自のアルゴリズムによるダブルディファレンシャルパルス方式により正確な劣化診断が可能だ。テストレポートのヘッダーとフッターには店舗情報や次回来店用のクーポンを挿入して印刷できる。無料で利用できるイラストの追加が可能でバッテリー診断をきっかけにさまざまな入庫の提案をサポートする。

一連の交換作業サポート

追加してバッテリーテスターが認可されたため注目が集まるところだ。

診断で交換が必要と判断した際には、ポータブルパワーソースPS-16000RP」の出番となる。一時的に電源を供給し、インフォテインメントシステムなどの設定がリセットされることを防ぐ。電池は安全性が高いリン酸鉄リチウムイオンを採用し、1万6千㍉㌃時の容量でジャンプスタートにも対応。ガソリンエンジン車が4000cc、ディーゼルエンジン車が3000ccまでの始動能力を持つ。付属の用途や機能として、携帯端末の充電用USB端子と高輝度LEDライトも搭載する。バッテリー交換後の放電電流積算値クリアなどのリセット関連作業では、ダイアグノスティックツール「HDM-10000」が用意されている。



ポータブルパワーソース「PS-16000RP」

同機は日本自動車整備商工組合連合会（整商連）の推奨機となっている。また、本年11月7日に日本自動車整備振興会連合会（日整連）主催で行われる第25回全日本自動車整備技能競技大会で競技用機材として使用される予定である。

さらに進化 4ステージ充電

アクセル「ACデルコバッテリーチャージャー「AD-3002」

用品商社のアクセル（田中正樹社長、東京都品川区）は、ACデルコバッテリーチャージャーシリーズのベストセラーモデルである「AD-2002」の後継モデル「AD-3002」の販売を開始し好評を博している。AD-3002の特長は、定電流と2段階定電圧、パルスチャージの機能を駆使した4ステージ充電をさらに進化させた「4ステージプラス」を採用。昨年から販売しているシリーズ最高スペックのAD-3002と同様に、マイコンが過放電バッテリーを検出した際には、4ステージ充電に先立ち、自動で低電流による「回復充電」を行い、極版を活性化させ、弱ったバッテリーを安全かつ快適に充電する機能を持つ。また、通常の充電ができなくなったバッテリーに救済充電ができる機能を2種類搭載した。1つは「メンテナンスモード」で、バッテリーが極度に劣化していて通常充電ができない場合に有効な救済充電機能だ。2つ目は「リフレッシュ充電」。30分のタイマー機能で高電圧／高電流の充電を実施し、バッテリーを活性化させる充電機能だ。



さらに販売開始以降、好評を博しているシリーズ最高スペックのAD-3007は、充電方式に「普通充電」「高速充電」「CCA充電」の3方式を搭載し、大型バッテリーや産業用バッテリーを含め、ほぼすべての12Vの始動用／車両用バッテリー（鉛蓄電池）の充電が可能だ。

そのほか、AD-2001は、マイコン制御で充電（2A、4A、6A）する機能のほかに、6V／12Vのバイクモードを搭載。通常の充電同様、全過程をパルス充電方式で充電する。ISS（アイドリングストップ）車／充電制御車用バッテリーには高電圧充電が必要だ。

3機種とも開放型、密閉型バッテリーのほか、AGM、オプティマ、ディープサイクル（AD-2001を除く）、ISSなど全メーカーのバッテリーに対応するなど汎用性が高い。カー用品量販店や卸ルートのほか、ホームセンターやアウトドア関連ショップでも好調な販売が続いており、特にマリン業界では評判の充電器として知られる。



Astemoアフターマーケットジャパン株式会社

Astemoアフターマーケットジャパン株式会社
〒135-0062 東京都江東区東雲 2-10-14 カスタマーサポートセンター TEL.03-3527-6323
記載内容は2026年10月現在のものです。製品の最終仕様は予告なく変更する場合があります。